

# みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2014  
vol.208  
毎月1日発行

9月号

# 杜の伝言板 ゆるる

月刊



## 特集

- 差別をしない、されたいまちづくりを考える  
条例の会 仙台
- 高校生に託すNPOの想い

復興への道 地域目 ～本吉編～

震災を契機に変わる福祉

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 すべての人にアートを  
すんぷちよ

杜の伝言板ゆるる  
ホームページ



# 差別をしない、されない まちづくりを考える

●条例の会 仙台

今年の一月、日本は『障害者権利条約』という国際条約に批准しました。みなさんはこのことを知っていましたか。

この条約へ批准したことにより、日本では今後、障がい者差別に対する考え方の変化が求められていくこととなります。実際、昨年六月には条約批准の前段階として、「障害者差別解消法」が国会で成立しており、身近なところでは仙台市が「障害者差別禁止条例」制定の取り組みを始めています。今回は、市民レベルで差別禁止条例の制定を目指す運動が続いている「誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会(愛称…条例の会 仙台)」(以下、条例の会)から、仙台市における条例制定も含め、差別がないまちを作るための取り組みについて、話を聞きました。

## ●●● 条例の会とは ●●●

条例の会は、仙台市内外で障がい者支援に取り組む二十四団体から構成されています。その活動の目的は誰も差別せず、差別されないまちを作ることとにありま

す。仙台市に障がい者への差別を禁止する条例を作ることはその目的達成のための手段の一つです。条例の会代表を務めるのは、杉山裕信さん。



▶条例の会代表の杉山さん

一九九五年に障がい者の自立支援団体「C-1」を立ち上げ、以来ホームヘルパー派遣、移送サービス、相談業務などさまざまな支援事業を手掛けてきました。

自身の経験、そして他の障がい者の支援を続けるなかで、多くの差別、障がい者の人権問題と向き合ってきた杉山さん。たすけつとの活動でも障がい者の差別や人権について、社会に理解を求めるため、研修会やシンポジウムを開催し啓発活動を続けてきました。

『差別はよくない』といくら叫んでも、結局は人の気持ちの問題。気持ちにだけ訴えかけ続けることに物足りなさも感じていました」と杉山さん。

転機は国連で「障害者権利条約」採択についての議論が始まったことでした。

## ●●● 障害者権利条約の考え方 ●●●

二〇〇一年に国連で提案され、二〇〇六年に採択された「障害者権利条約」は障がい者へのアプローチが従来の法律とは異なるものでした。

日本も含め、それまでの障がい者関連の法律の多くはリハビリ

テーションや福祉の視点から、障がい者が障がいをどう乗り越えるか、つまり障がい者個人に問題を設定してきました。

しかし「障害者権利条約」の考え方では、障がい者がその生活を制限されるのはその社会に問題があるとされます。

たとえば、このケース。

“ある高校生は車いすです学校へ通っています。ただし、学校側から『校内の移動は親の責任で』と言われているため、入学式以来毎日母親が付き添っています。”

車いすの高校生は、ほかの高校生と同じように学校生活を送るために、母親の同伴という追加負担を担わされています。条約に従えば、エレベーターの設置、学校職員による支援など、負担は学校側が担うべきで、それを怠っているのは差別に該当するとされます。

また、障がい者の定義拡大も、条約が持つ重要性の一つ。これまでは身体、知的、精神、発達というように、障がいの種類、症状により、障がい者は定義されてきました。しかし条約では、個人ではなく社会を問題視します。すると、自身に責任が帰属しない何らかの原因により、社会生活を制限される人はみな自身の権利侵害を主張

できる可能性があります。たとえば、難病患者も条例の考え方で障がい者に含まれるということですね。

この条例が国連で議論され始めたことは、たすけっとをはじめ全国の障がい者や支援者たちを勇気づけました。「差別禁止を訴えていくうえで拠り所となる条文ができるということは大いことでした」と杉山さんは言います。

### ●●● 仙台市にも条例を ●●●

条例の会が設立されたのは二〇〇九年十月のこと。

それまでも杉山さんやほかの障がい者や支援者たちは、宮城県や仙台市に障害者権利条約に準じた差別禁止条例を作るよう提案し続けていました。しかし、行政とはなかなか折り合いがつきません。そこで、「じゃあまず自分たちで条例の市民案を作るうじやないか」と、始まったのが条例の会です。

条例の会では、条例案を作るにあたって、条文を考えると同時に、差別事例の収集を行っています。どのような事例があるのかを把握して、抜けない条文を作るためです。二〇一一年にはそれまでに集めた事例をまとめ、事例集を発

行しました。

そして二〇一三年六月、国会で「障害者差別解消法」が成立したことにより、仙台市に動きが起りました。奥山恵美子仙台市長が仙台市に「障害者差別禁止条例」を作ると公言したのです。

それまで条例作りに取り組んでいた条例の会にも仙台市からの声が掛かり、条例の会は仙台市へ協力することになりました。そのことについて杉山さんはこう言っています。「もちろん協力はするけど、どんな条例案となるのかチェックしていくのも僕たち市民の役割です」。

仙台市は今年の六月から条例制定に動き出しており、二〇一六年四月の制定を目指しています。条例の会では、これまでの活動を活かし、条例案作りへの参画や障がい当事者としての意見発信、そして市民への啓発をすることで、仙台市に協力していく予定です。

### ●●● 条例を作ることは手段 ●●●

こうして仙台市に障害者差別禁止条例ができることになりました。しかし、それで十分というわけではありません。

条例の会では条例を作るプロ

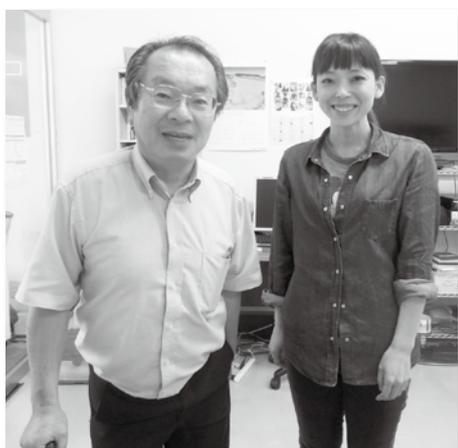
セスを重要視しています。条例の会事務局長で、自身身体に障がいを持つながら精神障がい者支援を行っている大江正義さんはこう言います。「条例を作る過程では、障がい者だけではなく、多くの市民を巻き込んでいかなければいけない。たとえば精神障がいの場合は、外見からは見えにくいこともあって、まだまだ障がいについての理解が不十分です。そのような状況で条例だけが作られても効果は薄いでしょ」。

精神障がいには分類される統合失調症を患いつつ、条例の会の活動に参加しているサラ(仮名)さんは条例作りへの思いをこう話しています。「わたしには幻聴・体感幻覚・妄想の症状があります。そのことで他人とコミュニケーションがうまく取れず、生きにくさを感じています。でも周りの人がわたしの症状をもっと理解してくれれば、その生きにくさは軽減される。だから条例作りを通じ、多くの人たちと障がいについての意見交換をして、相互理解を深めていきたいです」。

そして、条例の会では、市民の参画を呼びかけるため、「誰もが暮らしやすいまちづくりフォーラム」を開催します。すでに今年一回目のフォーラムは今年六月に開催されており、九月七日には第二回目のフォーラムがエル・パーク仙台で開催される予定。今後、条例が制定されるまでの一年半で、どれだけの市民を巻き込めるかが鍵となります。

障がい者差別をなくすことは、誰にとっても住みやすいまちづくりを実現すること。決して他人ごとではありません。ぜひ、あなたも議論に参加してみませんか。

(取材・執筆 大西直樹)



▶ 条例の会事務局長の大江さん(左)とメンバーのサラさん

誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる  
 仙台連絡協議会(愛称: 条例の会 仙台)

〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1  
 (CILたすけっと内)

●TEL: 022-248-6054  
 ●URL: <http://blog.canpan.info/jyourei>

# 高校生に託すNPOの想い

次代を担う若者に新しいNPOの価値観を伝えたい！と十一年前に始まった「NPOで高校生の夏ボラ体験」。今年は一二四名のみの高校生が様々なNPOでボランティア体験をしました。地域でそれぞれの社会的な問題に取り組みNPOの姿に接し、体験を終えた皆さんから様々な気づきを盛り込んだ体験談が寄せられています。しっかりとNPOの存在意義を捉えていますので、みなさんにもその一部をご紹介します。

仙台市で発達障がい児・者の支援活動をしているNPO法人みやぎ発達障害サポートネットで体験をした塩釜高校三年の中村龍太郎さんは、次のことに気づきました。

『発達障害』といっても一人ひとりに個人差があり、個性があるということ。穏やかな子、元気満々な子、集団で過ごすことが

苦手な子、他の子どもと一緒に遊ぶのが大好きな子、と一般の子どもとあまり変わりません。子どもとの出会いで特に感動したのは、みんな優れた何かを持っているということ。私は誤解をしていました。今まで発達障害は、明確に知的な遅れがあるという先入観を抱いていました。しかし、実はそうではなく、驚くほど絵が上手い子、IT機器の操作が得意な子、記憶力が優れている子など、特異な能力を持っていました。その能力を将来に活かせる場所があればいいなと思いました。でも、実際にこのような子たちが働こうとすると「バリアフリーの整備がなされていない」などの理由で採用しない職場が多々あると聞きます。差別化せず、一人ひとりの内面を見ることによって、適性を生かした仕事ができるのではないかと考えるようになりました。

子どもたちの教育支援活動に取り組んでいるNPO法人アマニ・ヤ・アフリカでボランティア体験をした泉高校二年の白鳥さくらさんは、自分の役割に気づきました。

「ボランティアに参加するまで、私にとってアフリカは遠い遠い存在でした。ニュースで見てもどこか現実味を感じられず、同情はしてももっと知ろうとまではしていませんでした。しかし、ニュースで出ているのはごく一部で、もっと自分から知るために調べなければいけない」といわれました。日本に生まれるか、アフリカに生まれるかの違いでこんなにも環境が違う。私たちはアフリカの人たちに募金して支援している気であるかもしれないけど、「募金で一時的に支援するだけではアフリカの人たちはこれから先ずっと生きていけない」と知りました。募金も必要だが本当に必要なのは、これから先も生活できるように訓練してあげること。今、私たちがこうやって裕福に暮らしているのは、アフリカのように安いお給料や過酷な労働を強いられる人々がいるからです。支援している気でも知らないところで私たちは貧困の原因の一部となってい

るのです。今回のボランティアはそれに気づくことができる機会となりました。私は、このことを身近にいる友だちや大人に少しでも知ってもらおうと話していくことが支援の一步だと思いました。

障がいを持っていても、持っていないなくても、地域の中で自分らしく生きていくよう支援活動をしている大崎市のNPO法人くもりのち晴れで体験をした古川黎明高校二年の山口朋花さんは、人と人の関係性に気づきました。

「良い・かげんな関わり」それがNPOのモットーだった。最初



▶くもりのち晴れが出店した古川まつりで店番

はそれがどういうことなのか分からず、手を抜いているような気がして受け入れられなかった。しかし、ボランティアを終えた今、振り返ると、一番学んだことは「良い・かげんな関わり」だと思う。

それは、スタッフの皆さんが利用者さんに対する態度から、何か特別な手助けをするわけでもなく、一人一人と向き合って受け取れる姿勢、そしてできないことはできるようになるまで何度もサポートする。どのように人と関わるかというマニュアルはない。関わる人の分だけ向き合い方を持っていた。また、出店での接客から、小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方々とお話をするとき、相手によって話す速さやトーンを調節することを学んだ。私は「良い・かげん」とは柔軟と捉え、「良い・かげんな関わり」とは、頭や心を柔軟にして、その場に感じ対応することではないかと思った。

障がい者と健常者が共に働く場『コッペ』を運営しているNPO法人麦の会で体験した名取高校三年江田彩夏さんは、はじめは障がい者の作業場という施設のイメージだったが、行ってみると、それは

普通の職場と変わらず、みんなが協力して仕事に取り組んでいたと感じました。

「最初、私は一方的に辛さだけを考えていました。しかし、コッペの皆さんが明るく仕事をしている様子を見て、辛さもあれば楽しいこともあるんだと多様に捉えることこそ、私たちに求められている視点なのだと実感しました。誰でもたくさんの人の支えがあっても今の自分が存在します。障がい者の方も同じでたくさんの人の協力が必要です。しかし社会の対処は、



▶『コッペ』で知的障がいを持つ人たちと一緒にパン作りを体験した高校生たち

障がい者を一般社会から隔離して保護しようという姿勢です。それでは身近に障がい者がいないような社会を作り上げてしまっています。ですから障がい者の方と交流を重ね、それぞれが自立した人間であることを広く、だれもが認知できる環境を整えることが重要です。そのようなまちづくりこれからボランティア活動を通して貢献していきたいです。”

岩沼市で高齢者と障害児の支援活動をしているNPO法人ホームひなたぼっこで体験した名取高校三年の古澤園歌さんは、自分が行動することに気づきました。

「幅広い世代の人たちが一緒に暖かな楽しい時間を過ごすひなたぼっこは、大きな家族そのものです。ここでは子どももお年寄りも職員も、みんなが思いやりを持ち、助け合いながら家族のように一日、一日を過ごしていました。私は三日間、こんな素晴らしい家族の中で生活し、学ぶ機会を得られたことに感謝しています。この経験を生かし、まずは挨拶をすることのように小さなことから始め、自分が住む亘理を、お互いを尊重し、助け合える大きな家族のよう

▶ホームひなたぼっこでは子どももお年寄りも、みんなで食卓を囲みます



なところにしていきたいです。”

この他にも、ゆるるが期待した通り、何が問題なのか、自分たちの役割は何か、を感じ取ってくれた高校生の体験談が届いています。まさに主催者として感動しています。これから地域の担い手になっていくだろう若者に心から声援を送ります。

(文責：大久保朝江)

# 震災を契機に変わる福祉

【気仙沼市本吉町、本吉郡南三陸町の事例】

レポーター紹介



河崎 清美さん

広島県出身。東日本大震災後の4月にボランティアとして宮城に入り、2012年5月から復興情報誌『FORTUNE宮城』の編集者として、被災地の情報を発信しています。

宮城県内では、震災を契機に変化が起こりつつある地域があります。

震災前、気仙沼市の南、本吉町と本吉郡南三陸町には障がい児の放課後等デイサービスを行うNPOがありませんでした。しかし、震災後新たにNPOによる四事業所が始動しました。

## それぞれの始まり

もに気を配る余裕も無く、不安定な生活の中で、子どもも家族も荒れていきました。家庭内で暴力をふるい、家庭崩壊寸前だったところもあるそうです。

気仙沼市本吉町にあるNPO法人泉里会は、震災三年前の二〇〇八年から障がい者自立生活支援施設を運営していました。理

震災直後、被災者は地域の体育館や避難所に避難しましたが、障がいを持つ方の場合、朝、昼、夜、時間に関係なく奇声をあげたり、パニックを起こしたりしてしまふことがあります。周囲に迷惑をかけてしまいそうな子どもを持つ親は、家族ともども、車の中や、ライフラインが止まったままの家に寝泊まりせざるを得ないこともありました。障がいを持った子ど



▶夏休み中のキッズハウスメぐみ。お弁当を持ってきてみんなで一緒に食べます

事長の森谷隆三さんは、障がいを持つ姪があり、障がい者とその家族をとりまく状況をずっと見てきた末の決断でした。

泉里会では、二〇〇八年八月から自立支援施設内で障がい児の日中一時預かりを行っていました。が、独立した事業所はありませんでした。そして二〇一一年八月、運営していた施設が震災の影響で避難所となり、子どもたちを受け入れる余裕がなくなったため、プレハブ施設を利用して夏休み限定障がい児一時預かりを再開しました。そのことであらためて地域の障がい児預りのニーズを察知した泉里会は、二〇一三年六月には新たな施設「めぐみキッズハウス」を開所させ、期間を限らずに受け入れられる障がい児デイサービスを始めました。

本吉町登米沢にあるNPO法人セミナールの理事長、佐藤工さん

は震災直後、区長と民生委員を兼ねていました。その佐藤さんの元に障がい児を持つ親たちが助けを求め、声が届くようになります。そこで佐藤さんはなんとかしなければ、と動き出し、NPO法人セミナールを立ち上げ、今年二月から放課後等デイサービス事業所「ホップ」を始めました。スタッフは、利用者の親であったり、地域の方であったりしますが、施設の経験が無い者ばかりで始めたところを、経験のある地域内外の多く



▶ホップの夏祭り。楽しむだけじゃなく、買い物を通して学習も取り入れます

の人たちに協力してもらい、今は落ち着いて運営をしています。毎月、施設外で人と触れ合うイベントを開催していますが、それも地域の方々の応援を沢山いただいています。



▶にじのはクラブの夏祭りでは子どもたちもご近所さんも一緒に楽しみました

気仙沼市本吉地区に隣接する南三陸町歌津地区では、一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会を母体とした「にじのはクラブ」が始まりました。きっかけは、東日本大震災後、全国組織で知的障がい者の支援を展開する社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会の関係団体を始め、多くのボランティアが南三陸に入り、歌津地区にある伊里前小学校の一室を借り、障がい児の一時預かりを始めたことでした。そして、それは宮城県手をつなぐ育成会を母体とした放課後等デイ

サービスを行う「にじのはクラブ」の開設につながっていききました。現在は町の保健センターの施設を使わせてもらって、活動を続けています。

同じく、南三陸町の障がい児童の支援にあたるNPO法人奏海の杜の前身は、「被災地障がい者センター南三陸」です。東日本大震災後、東北関東大震災障害者救済本部が設立され、岩手、宮城、福島の子で「被災地障がい者センター」を立ち上げました。二〇一一年六月に震災ボランティア団体として立ち上がった「被災地障がい者センター南三陸」はその中の一つ。そして避難所や仮設住宅で住民の方々に寄り添い続け、地域で求められていることは何か、自問しながらたどり着いたのが、現在の「子ども広場にこまる」、障がい児や在宅障がい者の日中活動支援でした。現在は、登米市に仮の拠点を持ち、南三陸町の障がい児童の放課後支援をする時には、町内の公民館を借りて活動しています。

### やっと見えてきたこと

震災時には、もともと持っていた

課題が大きく浮き上がってくるということがよく起こりました。障がい者福祉もそのひとつでしょう。南三陸町の「にじのはクラブ」でお話をうかがった「南三陸町愛の手をつなぐ親の会」の千葉みよ子さんは成人の障がい者を持つ親でもあります。千葉さんは、この地域にこういった障がい児のデイサービスができたことを心から喜ぶとともに、「なぜ、私たちの時代にはなかったのだろうか」と、不思議にも思われていました。

わたしたちの日常では、多くの問題が見過ごされています。震災を契機に、地域に他者の目線が入ったことで、それまで見えなかったものが見えてきました。

また、取材を通して見えてきた皆さんの共通の課題は、障がいを持っていて子どもたちの将来についてです。今は、世話をしてくれる親がいても、いつまでも続くものではないということは誰もがわかっています。彼ら自身が社会に出て行かなくてはいけないのです。その時、どういった形で自立することができるのか、それをどうやってお手伝いすることができるのか、それぞれの団体で日々、試行錯誤を重ねています。障がいがあることを無いことに



◀にこまるでユニットを組み、石巻の障がい者イベントに参加

することではなく、地域に出て行くことで、回りの人に理解してもらうことができます。人は誰かを助けることで、喜びを得るものもあるということを知った人も多くいます。そうやって、助け合うことで、地域の活動にも広がりがでてくるでしょう。また、取材先では、自立するためには就労の場が必要だという声も多くあがっていました。しかし今、被災地には、その場が不足しています。雇用の場をつくるということも地域の大きな課題となっています。

まだまだ課題は山積みですが、共通の問題意識を持った人々が集まれば、きっと何かが起こるはず。今後の本吉地域、地域福祉の展開が楽しみです。

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

# すべての人にアートを ～すんぷちよ～

▶ダンスワークショップ「オドリノタネ」の様子



任意団体「すんぷちよ」が、七月からみやぎNPOプラザの事務ブースに入居しました。すんぷちよは、「すべての人々にアートを」を合言葉に、障がいの有無や国籍の違いなどに関わらず、全ての人が芸術を通してお互いを理解し合い、平等でより豊かな社会を創ることを目的に二〇〇八年に設立された団体です。また、団体名になっている「すんぷちよ」とは、宮城の方言で、「急須」を意味し、「お茶飲みに人が集まるように、様々な人が集まる温かさを提供する団体でありたい」との思いが込められています。

設立以来、ダンスパフォーマンスの公演やワークショップの開催

を中心に精力的に活動を展開しています。すんぷちよのパフォーマンスの特徴と魅力は、温かみがありながら熱気に溢れ、時として観賞する人も演じ手に加わったり、子どもや障がいをもった人が先生やリーダーになる即興性にあります。活動の範囲も広く、関西、九州、沖縄、さらには中米のホンジュラスやニカアグラと宮城県内にとどまりません。

## アートは見えない壁を越える

代表の西海石みかささんは、養護学校の教員やJICA(国際協力機構)の国際ボランティアとして障がい児の教育施設でコミュニケーションや美術、音楽の指導方法を先生方に教えていた経験があります。団体の設立の原点は、西海石さんが、国際ボランティアの合間に、ベルギーで障がい者が創作を行うアートセンターを訪れた時の経験にあります。そこで、障がい者が自由な意思で作品を創作し、一人一人が「アーティスト」として尊重されている社会環境を見て、大きな衝撃と感動を覚えまし

た。「アートを通じた表現には社会

にある見えない壁を越える力がある」と西海石さん。「私たちの身近にいる障がいをもった人々と社会が普段からもっと自然な形でつながりあえる接点を作りたい」という気持ちは、特に東日本大震災の際に困難な状況にあった障がいを持った人々たちを目の当たりにして、一層強まりました。

## 組織力の充実と人材育成を目指して

団体は現在、NPO法人多摩多夢舎中山工房や宮城県障害者福祉センターで定期的にワークショップも行っていきます。更に今後は、演劇やダンスを通して障がいをもった人や認知症の人との関わり方を学ぶプログラム作りに取り組みもうとしています。

プラザに事務所を構えたことについて、西海石さんは、「メンバーがいつでも集える場所が出来たことで、組織力の強化と人材育成に力を注ぎたい」と抱負を述べます。また、現在、仙台市にNPO法人認証申請中です。プラザに新しい拠点と得て、法人として組織をより充実させるすんぷちよの活動が期待されます。

## プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

NPO夜学～もうひとつの生き方と出会う～  
第2回「NPOを立ち上げる」

9/24(水) 19:00～21:00

法人設立・運営相談

毎週水曜 13:00～17:00

会計・税務相談

9/26(金) 13:00～17:00

## みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

## みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成(第15次)

- 助成対象：東日本大震災で被災された方を支援するボランティア活動等全般  
日本全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とします
- 対象団体：被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を現に行う5名以上のボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等の非営利団体
- 助成金額：活動期間によって異なります  
・短期(30日未満)：50万円以内  
・中長期(30日以上)：300万円以内
- 助成期間：平成26年8月10日(日)以降の活動について対象となります
- 募集期間：9月5日(金)～9月19日(金) 必着
- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会  
企画広報部(ポラサポ担当)  
TEL：03-3581-3846 FAX：03-3581-5755  
E-mail：support@c.akaihane.or.jp  
※詳細は本会ホームページ<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>に掲載の応募要項、応募の手引きをご覧ください

## 公益財団法人JKA RING!RING!プロジェクト 平成27年度公益事業振興補助事業

- 補助対象：※詳細は「RING!RING!プロジェクト」HP(<http://ringring-keirin.jp>)をご参照ください。  
[社会福祉の増進]  
(1)子ども支援のための活動  
(2)高齢者支援のための活動  
(3)障がい者支援のための活動  
(4)児童、高齢者、障がい者が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動  
(5)施設利用者の活動や生活の質の向上に資する福祉車両の整備ならびに施設で必要な福祉機器の整備等、地域に関わる活動および幸せに暮らせる福祉社会を創る活動  
[東日本大震災復興支援事業]  
被災者・被災地域において主体的に取り組み、その成果を還元するとともに、被災地域の復興・再生に寄与する活動
- 対象団体：特定非営利活動法人、財団法人・社団法人、社会福祉法人、更生保護法人、商工会および商工会議所
- 補助金額：[社会福祉の増進]補助対象経費の3/4  
※補助内容により補助上限金額を定めています  
[東日本大震災復興支援事業]上限300万円
- 補助期間：2015年4月1日～2016年3月31日
- 募集締切：9月26日(金)午後5時 ※インターネット申請
- 申請方法：「RING!RING!プロジェクト」HPで会員登録後、ホームページ上で申請。  
※会員登録は9月25日(木)17時まで
- 連絡先：公益財団法人JKA 競輪・オートレース振興事業本部 補助事業部  
〒102-8011 東京都千代田区六番町4-6

問い合わせはHP(<http://ringring-keirin.jp>)の『お問い合わせフォーム』から

## 平成26年度「公益信託仙台銀行まちづくり基金」

- 助成対象：以下に該当する、県内における「まちづくり」に必要な環境整備などの活動や調査研究。東日本大震災からの復興支援に関する助成申請を含みます。  
(1)快適で文化的なまちづくりに必要な環境整備などの実践活動  
(2)まちづくりのために必要な調査、研究、情報提供  
(3)東日本大震災復興に向けたまちづくり活動
- 対象団体：営利を目的としない活動を行う団体・個人
- 助成金額：1件あたり上限30万円
- 助成期間：平成27年1月から平成27年12月の間に活動を開始しかつ終了する事業
- 募集締切：9月30日(火)
- 連絡先：仙台銀行経営企画部経営企画課  
「公益信託まちづくり基金」係  
〒980-8656 仙台市青葉区一番町2-1-1  
TEL：022-225-8258

## 第10回 TOTO水環境基金 国内助成

- 助成対象：日本国内における地域の水と暮らしの関係の再生または新しい文化の実現に向けた実践活動
- 対象団体：営利を目的としない市民活動団体  
(法人格の有無や種類を問わない)
- 助成金額：1件につき上限80万円  
(総額1,150万円を予定)
- 助成期間：2015年4月1日～2016年3月31日
- 募集期間：9月30日(火) 当日消印有効
- 連絡先：TOTO株式会社総務部総務第二グループ  
〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1  
TEL：093-951-2224 FAX：093-951-2718

## 第6回 東日本大震災復興支援JT NPO応援プロジェクト

- 助成対象：岩手県・宮城県・福島県のいずれかの県において、民間非営利組織が地域の人びととともに取り組む、コミュニティの復興・再生・活性化に向けた事業
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに活動拠点を置き、当該地域での活動実績が1年以上ある民間非営利組織(法人格の有無・種類は問わず)
- 助成金額：1件あたり300万円から500万円
- 助成期間：2015年1月1日から12月31日までの1年間
- 募集期間：10月1日(水)～10月15日(水) 当日必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター『東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト』事務局  
(担当：中川、西口)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1  
新大手町ビル245  
TEL：03-3510-0855 FAX：03-3510-0856  
E-mail：jt-npo-ouen@jnpoc.ne.jp

個人でできる災害への備えや災害支援に関する一般常識、被災地での注意点、災害支援の心構えなどについて学ぶ講座です。参加費無料！どなたでも大歓迎です。

- 日時：9月27日(土) 13:00～16:30
- 場所：ピースポートセンターいしのみき (石巻市立町1-5-21)
- 内容：◆第1部「自分が被災した場合」  
◆第2部「支援する場合」  
◆第3部「日常からできること」
- 定員：20名(最小催行人数5名)
- 参加費：無料(事前予約制)
- 申込方法：電話または、下記URLリンク先の申込フォームから申込み
- 主催：一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
- 連絡先：ピースポートセンターいしのみき  
〒986-0824 石巻市立町1-5-21  
TEL：0225-25-5602 FAX：0225-25-5603  
URL：http://pbv.or.jp/  
(10:00～18:00/金曜定休)

## 9/30 ～あなたの心に寄りそう～ 傾聴ボランティア公開講座

東日本大震災から3年半が過ぎました。多くの被災者の方は、道半ばの復興への思い、変わらない現実に、孤独感や心の病を抱えている方々が増えてきています。そのような多くの被災者に寄り添う活動として、注目されている傾聴ボランティア。傾聴を通して命の大切さを考えてみませんか。

- 日時：9月30日(火) 10:00～12:00
- 場所：仙台市福祉プラザ 1階 プラザホール
- 講師：渡部 純夫氏(東北福祉大学教授)
- 内容：講座「聴く力のスキルアップ講座」
- 参加費：無料(直接会場にお越しください)
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
みやぎNPOプラザ内 事務ブース  
TEL/FAX：022-343-9705  
携帯：090-6253-5640  
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp  
URL：http://blog.canpan.info/morimori/

## 10/5 バックアップスクール2014 講演会 女性のチカラ・地域のチカラ ～性差別解消に向けて～

来年は、北京での「世界女性会議」から20年、性差別解消などどれだけ進んだのでしょうか。国際的にグローバルな視点を持って地域でご活躍の船橋邦子さんから現状を伺い、女性

の力で地域の男女共同参画を推進し、次の世代にどんな地域社会をバトンタッチしていけばいいのかを皆様とともに考えあい、行動の輪を広げていきたいと思っております。

- 日時：10月5日(日) 13:30～15:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール (仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講師：船橋 邦子氏(元和光大学教授、北京JAC代表)
- テーマ：「女性のチカラ・地域のチカラ～性差別解消に向けて～」
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先にFAXで申込み。
- 主催：北京JAC仙台
- 連絡先：担当：斉藤  
FAX：022-284-7474

## 10/5 健康的に歩いて巡る地域の歴史散策 ～仙台三十三観音巡り～

仙台の三十三観音は全て市内の交通の便の良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。めったに歩かない「杜の都・仙台」を歩き、今まで見えなかった街の顔や自然を発見し、歴史ある伊達街仙台の認識を深めましょう。

- 日程行程：10月5日(日) 1番～11番札所  
「四季折々の表情を持つ亀岡・八幡・新坂・東照宮・本町第一行程地域」  
集合場所・時間：宮城県美術館駐車場前  
集合8:45 出発9:00
- 定員：50人
- 参加費：各コース毎、楽遊ネットワーク宮城会員2,000円、一般2,500円(レジャー保険料・小冊子含)
- 持ち物：全行程徒歩で廻ります。各自おにぎり持参で歩きやすい服装にてご参加下さい。
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mail・FAXで申込み。  
申込み時、参加希望コース、参加者氏名(ふりがな)、ご住所、TEL・E-mail、参加人数、会員の有無をお知らせください。  
下記URLからもお申込みできます。  
http://www9.ocn.ne.jp/~eikaiwa/rakuyuukannonmoushikom.html
- 主催：NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 連絡先：〒980-0021仙台市青葉区中央2-7-30  
角川ビル6階  
TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546  
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp  
URL：http://www9.ocn.ne.jp/~eikaiwa/rakuyuu.html

### 情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327  
e-mail:npo@yururu.com

### 編集後記



こんにちは。突然ですが、「作り手の顔が見える」ゆるるを目指して、編集後記を設けることになりました。小さいコーナーですが、編集スタッフが月替りで、制作の裏話や時事にまつることなど多様な内容をお伝えしていきます。来月からはぜひこの編集後記もお楽しみ頂けたら、と思います。ごきげんよう、さようなら。(大西)

●連絡先：TEL：090-5848-3264(洞口)  
URL：http://ps-natori.org/

## 9/21 「杜の子まつり」～あそびの広場in石巻～

震災復興支援として、おもちゃのかえっこや遊びの体験をする「かえっこバザール」と、打楽器奏者山口ともによる「ともとのガラクタ音楽会」の2部構成で開催します。親子で一緒にいっぱい楽しみましょう！

※当日のボランティアも募集しています。詳しくは下記連絡先までお問合せください。

- 日時：9月21日(日) 12:30～16:00
- 場所：石巻河北総合センター(ビッグバン)
- 対象：幼児～大人
- 内容：12:30～15:00「かえっこバザール」  
15:00～16:00「ともとのガラクタ音楽会」
- 参加費：無料
- 申込方法：申込不要、直接会場にお越しください。
- 連絡先：NPO法人せんだい杜の子ども劇場  
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1  
TEL/FAX：022-375-3548  
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp

## 9/22 大切な情報、伝わっていますか？ カラーユニバーサルデザイン講座

日本では、20名に1人、全体で約300万人以上の色弱者がいます。印刷物やホームページ、屋外のサインなどはそういった人たちに配慮された色彩になっているのでしょうか。色弱って何？色弱者が困っている事、シュミレーターで見る色弱者の見え方、私たちにできる事を学びます。

- 日時：9月22日(月) 19:00～20:30
- 場所：仙台市民活動サポートセンター 研修室2  
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講師：真山 正太氏(一般社団法人メディアデザイン理事、グラフィックデザイナー)
- 定員：15名(申込先着順)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。URLリンク先申込み専用フォームからお申込みできます。  
<http://mediadesign.jp/article-4358/>
- 主催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：担当：千葉  
〒980-0801 仙台青葉区木町通1-1-11  
朝日プラザ北一番丁1階  
TEL：090-3049-0613(携帯) FAX：022-224-5308  
E-mail：kouza@mediadesign.jp  
URL：http://mediadesign.jp/article-4358/

## 9/23 2014年自閉症・発達障害児者支援セミナー 第2回「苦手が“できる”に変わる！ 体の発達と生活動作について」

自閉症スペクトラム・発達障がいについての理解を深め、個々の特性に基づく支援を目指して、自閉症・発達障がい児者支援セミナーを開催します。

- 日時：9月23日(火・祝) 10:30～15:30  
(開場10:00、休憩12:30～13:30)

●場所：仙台市シルバーセンター7階 第一研修室(青葉区花京院1-3-2)  
●講師：鴨下 賢一氏(静岡県立こども病院専門作業療法士、日本発達系作業療法学会副会長)

●内容：発達障がいのある子どもには、体の使い方による不器用さのある子どもが少なからず存在します。姿勢や動き・道具の使い方について、子どもが無理なく出来るような生活の工夫や支援のポイントを学びます。

●対象：ご家族、保育・教育・医療機関職員、福祉施設職員、一般の方  
●参加費：サポートネット正会員 無料  
賛助・通信会員・一般 3,000円

【振込方法】  
お申込み受付後、1週間以内を目処に下記の指定口座にお振込ください。  
・七十七銀行 名掛丁支店  
・普通口座 口座番号 6020798  
・名義 特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット

●定員：170名  
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。  
申込み時、参加セミナー日程、受講者氏名(フリガナ)、TEL、ご所属をお知らせください。E-mailでお申込みの場合は、件名に「セミナー申込み」と明記。  
※お子さんの体の使い方等で、悩みや質問がございましたらお申込み時にお知らせください。

●主催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット  
●連絡先：〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-4-1  
TEL：022-265-5581 FAX：022-352-7088  
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp  
URL：http://mddsnet.jp/

## 9/25 利用者(住民)の、利用者による、利用者のための『地域包括ケア』を創る宮城シンポジウム

地域包括ケアとは、最後まで住み慣れた地で自分らしく生きることを支えるための支援とサービス体制です。現段階で、全ての人が尊厳ある暮らしを貫くための最高のケアと考えられています。今回は、利用者で創る地域包括ケアの取組についてご紹介します。

●日時：9月25日(木) 13:00～16:45(開場12:30)  
●場所：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)シアターホール(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)  
●内容：■基調講演『無縁社会は恐くない～みんなで創る新たなご縁～』  
講師：樋口 恵子氏(高齢社会をよくする女性の会理事長)  
■講演『地域包括ケアを進めるためのしくみ』  
講師：高橋 謙司氏(厚生労働省老健局振興課長)  
■『地域包括ケア体制の中での「こうほうえん」の役割と方向性』  
講師：廣江 研氏(鳥取県 社会福祉法人こうほうえん理事長)  
■パネルディスカッション

●定員：584名  
●参加費：無料  
●申込方法：参加申込書に記入または、参加者の氏名、団体名、電話番号を明記し共同主催事務局へFAXで申込み  
●主催：NPO法人介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会、NPO法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ  
●連絡先：共同主催事務局  
TEL：022-293-8158/022-276-5202  
FAX：022-293-8230/022-276-5205

## 9/27 災害ボランティア入門 ～自分を守る大切な人を守る～

学ぶこと、知ることが、いつか「誰か」を支える一歩になる！

・「子どもの参加」に関心のある方

- 参加費：子どもの放課後支援を進める会の会員は、無料一般500円
- 申込方法：子どもの放課後支援を進める会の会員は、別途申込み要  
その他の方は、事務局まで事前申込
- 申込締切：9月15日(月・祝)
- 主催：子どもの放課後支援をすすめる会
- 連絡先：事務局(NPO法人アフタースクールばるけ内)谷津  
TEL：022-778-8666 FAX：022-707-0057  
E-mail：npo.paruke@ab.auone-net.jp

## 9/18 トートバックを作る会 リバーシブル ランチバック編

今回の生地は花がら迷彩！スタッフ一押しのかわいい生地です。女性はもちろん男性がもってもインパクトがありますよ♪マチがあって便利です。お友達と一緒にご参加OK！参加者同士仲良くなれますよ！

- 日時：9月18日(木)、9月25日(木)  
各日、午前の部10:00～12:00、午後の部13:00～15:00
- 場所：亘理町字中町22  
(WATALIS工房隣の白い箱形の建物)
- 講師：小川 百恵氏、齋藤 真奈美氏(手しごと愛好家)
- 定員：10名(先着)
- 参加費：100円(茶菓代含む)
- 持ち物：裁縫道具
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
- 主催：一般社団法人WATALIS
- 連絡先：〒989-2351 亘理郡亘理町字中町22  
TEL/FAX：0223-35-7341  
E-mail：info@watalis.jp  
URL：http://watalis.jimdo.com/

## 9/19 話さナイトカフェ

「モノヅクリ=夢」ではないでしょうか？ささやかな夢でも願えば叶う。夢は言ったもん勝ち！自分の大切な「モノヅクリ」を話しましょう。

- 日時：9月19日(金) 18:30～21:00
- 場所：大崎まちづくり支援センター きらっと  
(大崎市古川米倉字屋敷4 2-1)
- 話題提供：当日のお楽しみ
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：500円(飲み物・軽食付き)
- 申込方法：下記連絡先へTELまたはFAX、メールで申込み
- 主催：NPO法人おおさき地域創造研究会

- 連絡先：〒989-6134 大崎市古川米倉字屋敷42-1  
TEL：0229-25-9956 FAX：0229-25-9958  
E-mail：mail@otsk-kiratto.org  
URL：http://otsk-kiratto.org

## 9/19 簡単ホームページ作成講座

団体の活動が市民から信頼され支持されるためには、積極的に情報発信することが重要です。Jimdoを使いスマホにも対応したホームページの作り方を指導します。

- 日時：9月19日(金) 10:30～16:30
- 場所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 対象：パソコンの基本操作ができる方
- 定員：5名(先着順)
- 申込方法：下記URLリンク先の専用申し込み欄から申込み
- 申込締切：9月13日(土)
- 参加費：3,500円  
※実習用のパソコンはこちらで用意します  
(Wi-Fi対応であれば持込み可)
- 主催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：TEL/FAX:022-796-8091  
E-mail：tohoku@e-elder.jp  
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

## 9/19 市民活動講座「みんなで語ろう！ 地産地消と食糧事情」

農産物への安全・安心志向の高まりや生産者の販売方法の多様化が進むなかで、消費者と生産者を結び付ける「地産地消」への期待がますます高まっています。名取で野菜を生産し地産地消に取り組む講師が、名取の食糧事情とともに農業や食の大切さをお話します。名取産の美味しい野菜を食べながら、一緒に考えてみませんか。

- 日時：9月19日(金) 19:00～21:00
- 場所：名取市市民活動支援センター(名取市大手町5-6-1)
- 講師：洞口 のり子氏(産直ネットワークなとり代表、NPO法人パートナーシップなとり副代表理事)
- 内容：19:00～19:30 講話  
19:30～21:00 交流会  
(名取産の美味しい野菜をいただきます！)
- 対象：どなたでも
- 定員：15名
- 参加費：無料(交流会は200円)
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せのうえで、参加。
- 申込締切：9月12日(金)
- 主催：NPO法人パートナーシップなとり

### 縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類は  
こちらから確認できます

■宮城県

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturizu-zyuran.html

■仙台市

http://www.city.sendai.jp/d01/1202909\_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分7月11日～8月10日 仙台市所轄分7月11日～8月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
仙台市 アートワークショップすんぷちよ	宮城野区	高齢者、障害者、子育て中の親子を含むすべての人を対象とした文化・芸術活動支援事業 高齢者、障害者、子育て中の親子を含むすべての人とのアートを介した交流・相互理解促進事業 すべての人がアートに触れる権利を守るための学習事業等	8/1

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分7月11日～8月10日 仙台市所轄分7月11日～8月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 優愛	大崎市	障害児の放課後等デイサービス事業	7/14
宮城県等 ビザ&ライフサポートインみやぎ	富谷町	宮城県在住の外国人に対する、生活支援及び出入国管理制度の相談に関する事業	7/23

宮城県のNPO法人数

**776**団体 (宮城県等所轄:363団体 仙台市所轄:413団体)

※2014年  
8月10日現在

- 講 師：大久保 朝江氏(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：NPO法人化を考えている任意団体の方、NPOの活動に興味のある方
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参 加 費：800円
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、メールにてご送付下さい。  
申込書は下記URLよりダウンロード出来ます。  
[http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza\\_m20140911.html](http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_m20140911.html)
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

## 9/12 夜間中学を描いたドキュメント映画 「こんばんは」無料上映会

.....  
映画の舞台は、墨田区立文花中学校夜間学級。そこでは、様々な理由で「普通に学ぶ機会」が得られなかった人々が年齢や国籍に関係なく、学んでいる。受験戦争のためではなく、生きるために学ぶ真摯な姿。不思議な優しさや温かさに包まれた、今まで出会ったことのないような学校があった！

- 日 時：①9月12日(金) 18:00~20:00  
②9月16日(火) 18:00~20:00  
③9月23日(火・祝) 14:30~16:30  
④9月27日(土) 10:00~12:00
- 場 所：①・②仙台レインボーハウス(仙台市青葉区五橋2-1-15)  
③・④仙台市市民活動サポートセンター 研修室2(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 参 加 費：無料
- 定 員：①・② 25名 ③・④ 20名
- 申込方法：直接会場にお越しください。
- 主 催：仙台に夜間中学をつくり育てる会
- 連 絡 先：TEL：090-7562-3227(中澤)  
E-mail：c.yasaka.r@ab.auone-net.jp

## 9/14 記憶を記録にしよう～ビデオ制作講座～

.....  
いっぱいあった思い出の写真・映像を心に残るビデオ作品に仕上げましょう。まったく編集技術のない初心者もOK！原則1ヶ月に一度市民センターで開催、いつでもお好きな回にいらして下さい。先生や参加者みんなでわいわいがやがや、互いに学び合いながら進めていきます。

- 日 時：9月14日(日) 14:00~17:00  
※次回は、10月26日(日)予定
- 場 所：生涯学習支援センター 5階 会議室  
(旧「仙台市中央市民センター」、仙台市宮城野区榴岡4-1-8)
- 参 加 費：500円(資料代)
- 持 ち 物：原則PC持参
- 主 催：映像カフェせんだい
- 連 絡 先：担当：久保田  
FAX：022-395-2690  
E-mail：jun-pei@fc5.so-net.ne.jp

## 9/15 みやぎアピール大行動2014 今こそ生かそう障害者権利条約！ 進めよう私たちの望む制度改革を！

.....  
今から8年前、障害者自立支援法応益負担の嵐が吹き荒れるなかで、当事者・家族・関係者を中心に産声をあげたみやぎ

アピール大行動実行委員会。障害者権利条約等、制度改革はまだ始まったばかり。これからも、皆さんと一緒に諦めず、挫けず、力強い歩を積み重ね、必ずや実現させていきましょう。「私たちが望む真の制度改革を！」

- 日 時：9月15日(月・祝) 12:30開演
- 場 所：せんだいメディアテーク オープンスクエア  
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 内 容：12:30～アピール大集会／学習講演会「今こそ生かそう障害者権利条約！～“医療・介護・障害者年金・生活保護・障害者総合支援法” 私たちの生活はどうなるの～」  
15:30～アピール大行進／仙台中心商店街をパレード
- 参 加 費：500円(資料代)
- 申込方法：当日会場に直接お越しください。
- 主 催：みやぎアピール大行動実行委員会
- 連 絡 先：事務局  
〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1(コッペ内)  
TEL：090-9740-7799(代表：鷺見)  
FAX：022-299-1279  
E-mail：appeal318@hotmail.co.jp

## 9/17 正しく理解！お金の管理の仕組み

.....  
「会計を担当者1人に任せきりにしている」「団体の会計管理の方法に不安がある」など、お金の管理についてお悩みはありませんか？ミスや不正を防ぐための仕組みづくりについて学び、信頼される団体を目指しましょう！

- 日 時：9月17日(水) 13:30~16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 対 象：NPO・市民活動団体の代表、会計担当者など
- 定 員：20名(申込先着順)
- 参 加 費：1,000円
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、メールにてご送付下さい。  
申込書は下記URLよりダウンロード出来ます。  
[http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza\\_k20140917.html](http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyoku/koza_k20140917.html)
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

## 9/17 「子どもの参加ファシリテーター」入門セミナー ～子どもの活動の支援者の技術・役割・姿勢を考える～

.....  
このセミナーでは、「子どもの参加」を支援・促進していくファシリテーター(支援者)のあり方について、ワークショップ(参加型学習)を通じて丁寧に深めていきます。

- 日 時：9月17日(水) 10:00~12:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール  
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：子どもの参加を促進するためのファシリテーターの役割とは参加者同士による「子ども参加の成功・失敗事例」の共有現代の子どもたちの特徴や現状について意見交換
- 定 員：80名
- 対 象：以下1つ以上にあてはまる方
  - ・特に、10代の子どもを対象とした活動をしている人
  - ・すでに何らかの形で子どもと関わっている人
  - ・フリースクール、子育てサークル、スクールカウンセラー、青少年団体、児童館、子どもNPOといった子どもと向き合っている活動している方

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター  
 TEL : 052-762-0401  
 E-mail : oubo@psc.or.jp  
 URL : http://www.psc.or.jp/award/index.html

## 第4回 交通事故専門士 資格取得講習会& 事前セミナー

あなたもNPO法人交通事故と労災をサポートする会日本が認定する「交通事故専門士」の資格を取ってみませんか？ 資格取得にあたっては、知識がない方でも弁護士監修のもと初級・中級・上級と段階的な学習が可能です。事前セミナーにおいてください！

### 【事前セミナー】

- 日 時：9月7日(日) 9:00~12:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 3階 研修室2
- 参加費：1,500円
- 【初級専門士資格取得試験&講習】
- 日 時：9月21日(日) 10:00~15:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室5
- 受験認定料：2,160円(テキスト代含む)  
お支払いはテキスト送付時に代金引換にて
- 申込締切：9月16日(火) 必着
- 【共通事項】
- 申込方法：下記連絡先へFAX、郵送またはメールフォームにて申込、もしくは直接窓口から申込  
※試験&講習を申し込む場合は、メールフォーム「お問い合わせ内容」欄に「9/21開催 ○級(初級または中級)資格取得講習参加希望」と記入してください
- 主 催：NPO法人交通事故と労災をサポートする会日本
- 連絡先：ジコサポ仙台  
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-4-18  
(どんぐり整骨院内)  
TEL : 0120-509-907  
URL : http://www.jikosapo-sendai.jp/

- 内 容：軽い体操、民話・詩集朗読、趣味講座、肩のこらない学習、外へ出かけましょう
- 会 費：1回1,543円(料金1,429円+消費税114円)  
※あかねグループをご利用が初めての場合、入会金1,000円が必要。  
※あかねグループのご利用には利用会費を毎月200円いただきます。
- そ の 他：お弁当、お菓子ができます。詳しくはお気軽にお尋ねください。
- 申込方法：下記連絡先に問合せのうえ、参加。
- 主 催：NPO法人あかねグループ
- 連絡先：〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35  
TEL : 022-285-0945 FAX 022-282-4788  
URL : http://www9.ocn.ne.jp/~akane-g/

## イベント

### 9/11 ニュージーランド留学説明会

ニュージーランドのオークランド&クライストチャーチにオフィスを構える、留学生支援のお仕事をされている方から、現地のお話をいろいろと聞いてみませんか？自然が豊かで、治安が良く、のびのびと生活することができる国。それがニュージーランドです。現地在住の方から、生のお話を直接聞くことのできる貴重な機会です。ぜひご参加ください！

- 日 時：9月11日(木) 16:00~18:00
- 場 所：NPO法人留学支援協会ラウンジ
- 参加費：無料(要事前申込み)
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・E-mailで問合せの上、申込み。  
※応募多数の場合は早期締切となります。あらかじめご了承ください。
- 主 催：NPO法人留学支援協会
- 連絡先：〒980-0021 仙台市青葉区中央3-1-24 荘銀ビル5階  
TEL : 022-302-7741 FAX : 022-302-7742  
E-mail : info@npostudyabroad.jp  
URL : http://npostudyabroad.jp/

## 事業案内

### あかねのふれあいサロン 参加者募集中！ ～共に支え合いながら、楽しく暮らすために～

出会い、ふれあい、学び合い、支え合い。健康増進を図りながら交流を楽しむ高齢者サロンに参加してみませんか？

- 開催日時：毎週月曜日、金曜日 10:30~15:00
- 場 所：若林区遠見塚1丁目(あかねグループ付近)

### 9/11 基礎から学ぶ！ NPO法人設立講座

「NPO法人と任意団体の違いって何？」「法人化したほうがいいって言われたんだけど…」「法人申請したいけど、どこへ相談したらいいんだろう？」そんなあなたに朗報です!!定款作りや設立総会の開催など、NPO法人設立には欠かせないポイントをわかりやすくお伝えします。

- 日 時：9月11日(木) 14:00~16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室

## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2014.8.16現在)敬称略

### ●正会員 50名

<仙台市> ●平野由紀子 ●佐藤和文  
●梨本雄太郎 ●大泉大介  
<塩釜市> ●北尚登

### ●賛助会員 79名

<仙台市> ●藤田佐和子

### ●寄付者

<仙台市> ●かほく「108」クラブ

## 会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	-□ 3,000円
賛助会員NPO	-□ 5,000円
賛助会員企業・団体	-□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人  
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

# information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### PARACUP SENDAI 2014 リレーマラソンat 仙台空港

震災復興支援のためのチャリティーランニングイベントを開催します。仙台の市民ランナーが中心となって企画運営を行い、収益は被災地の子どもたちの学業支援、スポーツ支援のために寄付します。参加するランナー、ボランティアスタッフの皆さんの笑顔が、東北の子どもたちの笑顔につながって、チャリティーの輪が広がっていくように、様々な工夫をこらした1日に、ぜひ参加してみませんか？

- 活動内容：ランナー受付、会場誘導、給水、コース誘導、大会の盛り上げ、ランナーの盛り上げなど
- 活動日時：10月26日(日)  
7:30(または8:00)～15:00  
※活動場所によって異なります。
- 活動場所：大会メイン会場 仙台空港周辺エリア「下増田神社付近」(名取市下増田字屋敷)ほか、各活動場所
- 募集人数：一般150名(中学生以上)  
学生(中学生以上の学生対象)30名  
※学生ボランティアの場合、参加するには保護者の同意が必要です。
- 参加費：一般1,000円(スタッフTシャツ、寄付金含む)  
学生(中学生以上の学生対象)無料
- 申込方法：下記URLリンク先の申込フォームから申込み
- 申込締切：9月12日(金)定員に達し次第締切
- 募集主体：PARACUP SENDAI実行委員会
- 連絡先：事務局  
TEL：080-5748-8062 (平日10:00～17:00)  
E-mail：mail@paracupsendai.info  
URL：http://www.paracupsendai.info/

## お知らせ

### 2014子どもホタルレンジャーの取組を大募集

環境省では、ホタルや水辺の生きものたちの観察などを通して、水環境の保全活動や体験活動を行っている子どもたちを「子どもホタルレンジャー」に任命し、地域の水辺を守るリーダーとして活躍していただきたいと考えています。この夏、全国で多くの子どもたちに取り組みをいただくとともに、たくさんのご応募をお待ちしております。

- 募集対象：園児・小学生・中学生が中心になって活動している、学校や企業、NGO/NPO等の取り組みで、下記の条件を1つ以上満たしていること。
  - 1)ホタルや水辺の生きものたちの観察や、保全活動
  - 2)河川や水辺などでの水環境の保全に関する活動
  - 3)いなくなったホタルや水辺の生きものを呼び戻すための活動
- 応募の流れ：①エントリー ※エントリー締切9月30日(火)

- ①エントリー用紙をダウンロードし、メールまたはFAXでエントリー
  - ②活動内容の報告 ※応募締切12月19日(金)  
下記連絡先URLより活動報告用紙をダウンロードし、メールまたは郵送で提出
  - ③発表会・表彰式  
選考された団体は、2015年3月ごろ開催予定の発表会と表彰式にご招待
- 主催：環境省
  - 連絡先：子どもホタルレンジャー事務局  
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-10-15  
ツインズ新宿ビル4階  
TEL：03-6273-2860 FAX：03-3350-7818  
E-mail：hotaru@hota-ranger.jp  
URL：https://www.eeel.go.jp/water/hotaranger/2014/

### 第11回 日本パートナーシップ大賞 募集開始

日本パートナーシップ大賞は、NPOと企業の協働が可能であること、社会における様々な問題を解決する手段の1つとして有効であることを伝え、NPOと企業の協働を中心に、多様な協働の形を推進してきました。地域や社会の課題解決を目指して、協働の輪が広がるよう、今年度の募集を開始します。皆さまからのご応募、お待ちしております。

- 対象：日本に所在するNPO(法人格の有無不問)と企業の協働事業  
※上記の協働に行政・大学等多様な主体が関わった協働事業も可
- 応募条件：1)応募時点で、継続中または事業終了後1年以内のもの。自薦または第三者による推薦。ただし、いずれもNPOおよび企業双方の理解が得られていること  
2)過去の「パートナーシップ大賞」入賞事業(グランプリ事業含む)を除く  
3)事例集として作成する刊行物やHP等に、協働事業名、NPO名、企業名等を掲載することについて、ご了承いただくこと
- 表彰内容：グランプリ(1事業)NPOに副賞50万円  
優秀賞(複数事業)NPOに副賞10万円、その他特別賞など
- 応募方法：応募用紙を下記URLからダウンロード。必要事項を記入の上、以下の連絡先まで応募書類をE-mailにて送信、応募・審査費(5,000円)を指定口座まで振込み。9月24日必着で、応募書類一式を郵送。
- 応募審査費：応募事業1件につき、5,000円(審査に関わる一部費用)  
【振込先】
  - ・ゆうちょ銀行 店名：二一八 店番：218
  - ・普通預金 口座番号 6118995
  - ・口座名義 トクビパートナーシップサポートセンター
- 応募期間：9月9日(火)～24日(水)
- 応募締切：9月24日(水)必着
- 主催：日本パートナーシップ大賞運営委員会
- 連絡先：第11回 日本パートナーシップ大賞 運営事務局 募集係  
〒464-0067 愛知県名古屋市中千種区池下1-11-21  
サンコート池下2階



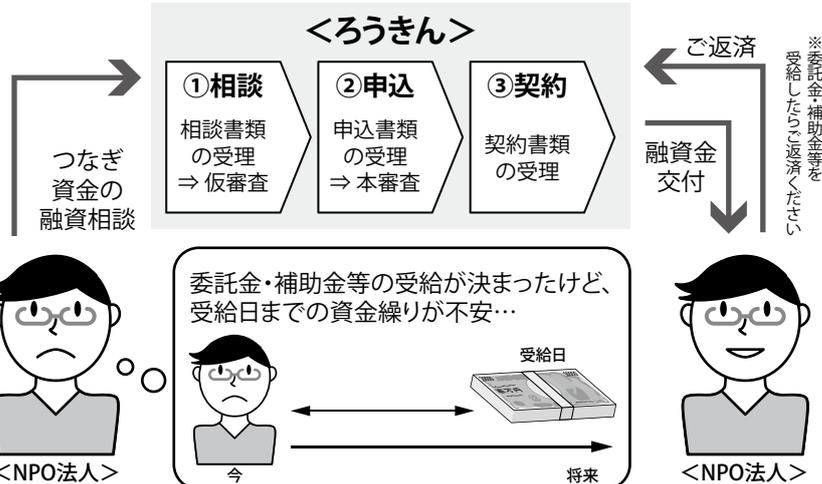
# 「宮城県NPO活動支援融資制度」のご案内

ろうきんでは、「1年以内に国または自治体等からの委託金・補助金、および団体からの助成金等の受給が確定している特定非営利活動法人(NPO法人)」を対象として、受給を受けるまでの「つなぎ資金」を融資する制度を取り扱っております。

## 商品概要

- 融資額/委託金・補助金・助成金等の範囲内
- 融資種類/手形貸付 ● 返済期間/1年以内
- 金利/年1.70%(固定金利) ● 担保/不要
- 保証/代表者1名以上の個人保証
- 取扱窓口/宮城県内の全営業店

※審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



お問合せ・お申し込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ



東北労働金庫

☎ 0120-1919-62

受付時間：平日午前9時から午後5時

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN プロジェクト 2014

知ってほしい！身近に生きるいきものこと、環境のこと。

## 自然再生を考えるバスツアー

仙台市東部、七北田川河口に広がる蒲生干潟、そして近隣の海岸林(岡田新浜・南蒲生海岸)、そこに生きる動植物を観察するバスツアーです。震災によって大きな被害を受けた自然やいきものたちが、どう再生しているか、海岸域で進められている復旧工事はどう進んでいるのかを自分たちの目で見て考えます。

日時 9月21日〔日〕

8:30~13:00

※小雨決行 ただし荒天の場合10月5日(日)に延期

行き先 仙台湾の海岸域

仙台市宮城野区蒲生干潟~岡田新浜・南蒲生海岸を予定

集合 仙台駅前周辺

※参加者には後日、連絡をいたします

●参加対象：自然やいきものに興味のある方(中学生以上)

●参加費：500円

●定員：30名(先着順)

●申込締切：9月12日〔金〕

■共催：蒲生を守る会、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、認定NPO法人日本NPOセンター

■協賛：損害保険ジャパン日本興亜株式会社

申込先：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は下部をご覧ください)